



かどましりつとしょかんだより

2023年 4月 第36号

入学、進級おめでとうございます。としょかんだよりでは、門真市立図書館からみなさんにおすすめの本やイベントをお知らせしています。4月23日からこどもの読書週間が始まります。今年の標語は「ひらいてとじた 笑顔がふえた」です。にっこり笑える本をたくさん見つけてくださいね。

おすすめの本

「ようこそ！ここはみんなのがっこうだよ」

アレクザンドラ・ペンフォールド／作 スーザン・カウフマン／絵 鈴木出版



えほん

朝のお祈りする子やどんなに遠くの国から来た子だって「ようこそ！ここはみんなのがっこうだよ」一人一人が集まってみんなになるんだ。いろいろな友だちと手をつなぎあって困ったこと、つらいこと、みんなで助け合おう。がっこうっていいな。家に帰っても「早くみんなに会いたいな」

「虫ガール ほんとうにあったおはなし」

ソフィア・スペンサー／文 福本友美子／訳 岩崎書店

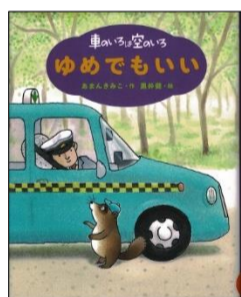


やさしいよみもの

小さいころから虫が大好きなソフィアは幼稚園では人気者。しかし小学生になると虫が好きなことによりいじめられるように。元気のなくなったソフィアを見かねたママは昆虫学者のグループにメールを送りました。するとたくさんのはげましのメッセージが。巻末には、ソフィアの「虫の本」がのっています。

「車のいろは空のいろ ゆめでもいい」

あまきみこ／作 ポプラ社



やさしいよみもの

松井さんはタクシーの運転手さん。空いろの車に乗っていて、たびたびふしぎなお客さんに出会います。今回はどんなお客さんとどこへむかうことになるのでしょうか。教科書でもおなじみのシリーズの新作が22年ぶりに出ました。さし絵は「ころわん」の黒井健さんになりました。春にぴったりなとっておきのお話が7つ入っています。

「ロウリーのいい子怪談ばなし」

ジェフ・キニー／作 中井はるの／訳 ポプラ社



よみもの

ミイラやううれい、こわいお話が好きな子はだいかんげい！グレッグの親友・ロウリーが書いた気味が悪いお話が集まりました。いくつかはロウリーが作ったお話だけど、なかには本当にあったお話もあるんだって。夜、眠る前には読まない方がいいかも？大人気「グレッグのダメ日記」シリーズのばんがいへん第3作目。

としょかんからのお知らせ

こどもの本展覧会「ことばのせかい ことばとあそぶ」

本館 4/18(火)～4/30(日)

市民プラザ分館 5/2(火)～5/14(日)

しりとり、だじゃれ、さかさことば、がいこくごの絵本など
ことばといっしょにあそべる本を集めました

絵本好きな子よっといで パート21

本館 4/23(日) 午前11時～11時45分

エプロンシアター「おおきなかぶ」ほか

こどもの読書週間

4/23(日)～5/12(金)

標語「ひらいてとじた 笑顔がふえた」

としょかんクイズ

5月5日はこどもの日(端午の節句)です。ショウブの葉や根をおふろに入れる風習がありますが、どんな意味がこめられているのでしょうか？

こたえ↓

こたえは「ショウブの葉や根をおふろに入れる風習は、こどもの成長を願う意味がこめられています。」

◆おまけ◆

端午の節句は中国の行事と日本の田植えの行事がむすびついたもので、もとは女性の祭りだったといわれています

【参考文献】

- ・目でみる子どものあそび百科 4 P13
- ・日本の年中行事百科 P46

次号は7月上旬に発行予定

